



とっぱずれ

銚子東ロータリー・クラブ Weekly Bulletin NO. 1714



古今の銚子港と街並み

第1714回 例会 平成19年3月13日

点 鐘 ... 中西 廣 会長
ロータリーソング ... 我等の生業
来訪ロータリアン紹介

... 親睦活動・家族委員会

会長挨拶 ... 中西 廣 会長
御祝披露 ... 中西 廣 会長

誕生祝 ... なし
結婚記念日 ... 澤田 武男会員(3月8日)
網中喜一郎会員(3月11日)
和喜多栄二会員(3月11日)

入会記念日 ... なし

幹事報告 ... 宮内 博 幹事

ニコニコBOX ... 親睦活動・家族委員会
卓話

「銚子と国木田独歩」
国木田独歩百年忌実行委員会
総務部会長 高瀬 博史 氏

出席報告 ... 出席委員会

来週のプログラム (平成19年3月20日)

卓話
「『お山』の現状と今後について」
銚子市立銚子高等学校

校長 森村 隆二 氏
第9回定例理事役員会(例会終了後)

お食事「大新」

LEAD THE WAY “ 率先しよう ”



2006~2007年度 RI 会長 ウィリアム B.ボイド



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

第 1713 回例会(平成 19 年 3 月 6 日)

会長挨拶

中西 廣

識字率向上月間

3 月は識字率向上月間です。会報「とっぱずれ」の 4 ページには、R I のプログラムが紹介されています。わたしの挨拶と重なるところが多いのですが、参考にしていただければと思います。このなかに紹介されているように、読み書き、計算能力の向上は、かねてより世界社会奉仕活動、三H補助金の各プログラムとして取り上げられてきましたが、R I では、1997 年 7 月の理事会で、毎年 7 月を識字率向上月間と決めました。1998 年 7 月は、その最初の月間でありました。その後、識字は R I の強調事項として指定され、ウィリアム・ビル・ポイド R I 会長も、識字率向上を水保全・保健及び飢餓・ロータリー家族とともに 2006～07 年度の強調事項として挙げられました。識字率向上は、多くの R I 会長の優先事項となってきましたし、今後もそうあり続けるであろうと述べています。なお、2006～07 年度から 3 月に変更になっています。また、国連も、緊急課題として識字問題を取り上げ、2003～12 年までを「世界の識字 10 年」に指定しています。

我が国は、幕藩体制下では藩校があり、町人や農民も自発的に寺子屋を開設していました。また、藩校と寺子屋の中間に位置する郷学という学校もありました。明治 5 年の学制発布により学校制度が確立し、いわゆる寺小屋から小学校教育へという、義務教育の普及により、国民は、基礎的な識字及び計算能力、いわゆる、読み、書き、算盤の能力を持っております。今更、識字問題をとの思いもありますが、先日の I M で、増田 P G の講評の中に「ロータリーは、国際組織であることを忘れないで欲しい」との言葉もありましたが、識字率向上について、国際ロータリーの強調事項となっている背景を、月間に因んで確認したいと思い、過年度の友誌や関連文献を見て、自分の理解の乏しさを補う事としました。

非識字と貧困は、悲惨な悪循環を繰り返すこととなります。世界の非識字人口は 9 億とも 10 億とも言われ、これは全世界の 15 歳以上の大人の約四分の一にあたる数字だそうであります。そして、非識字は、

3 つの点で人類の前途を暗くしているとあります。第 1 に、貧富の差による世界的社会不安の高まりであり、地球規模の社会不安は、南北間、国家間の貧富の差が原因といわれます。第 2 に、人口問題です。人口増加の 99%が途上国であり、人口抑制の有効な手段は、母親や少女達の教育と言われます。そして第 3 が、地球の環境問題で、非識字が環境教育について大きな問題となっており、国際紛争、人口爆発、環境破壊という危機は、非識字によるともいわれます。今、援助の手をさし述べなければとり返しのつかない恐れがあるともいわれます。

これらが、ポリオ・プラスのあとを継ぐ最も重要なプログラムとして、識字プロジェクトを提唱されている所以です。当クラブも、R I の世界社会奉仕活動を理解し、地区の取り上げるプロジェクトへ、クラブとして参加できればと思います。

幹事報告

- 1・ガバナー事務所より
 - ・ロータリーカード推進のお願い
 - ・拉致被害者支援ご協力のお礼 受領
- 2・銚子市教育委員会スポーツ振興課より
 - 平成 19 年銚子市野球場開き記念高校野球親善試合のご案内 受領
- 3・銚子市陸上競技協会より
 - 第 58 回中学校対抗銚子半島一周駅伝大会終了の報告とお礼 受領
- 4・例会変更のお知らせ
 - 銚子 R C より
 - 3/21(水) 休会 祝日の為
 - 3/28(水) 休会 定款第 5 条第 1 節による 受領
 - 週報受領 東京目黒 R C 銚子 R C

卓 話

「一茶 七番日記に見る銚子」

銚子 R C 杉山 俊明 氏

先月から始まった千葉 DC(ディストネーション・キャンペーン)への協力で当山では、2 月 16 日の一日限りで「お宝公開」という催しをさせて頂きました。



公開した寺宝の何点かの中に一茶や華山の直筆の句など展示させて頂いたわけですが、これらは、文化、文政の頃、銚子並びに当山境内の北隅にある望西台を訪れた文人・墨客が詠み、書いたものを纏めた「墨画帳」に収められているもので、ここでは省かせていただきますが、この他多くの文人達の俳句、詩仙、画などが記帳されています。

墨画帳は、その箱書きに文化13年夏、桂丸之納とあり、夏目成美の序文から始まっています。桂丸とは行方屋、現在の太里家の六代、富文氏のことであり、桂丸は早くから佐原の今泉恒丸に師事し、江戸との商売を通して多くの文人との交流を重ねた人で、その意味で、今に続く銚子の文化発展の基礎を造った人と言えるかもしれません。夏目成美は蔵前の札差、井筒屋の当主八朗右衛門のことで一時期一茶の庇護者でもあった人ですが、桂丸とは以前より交流があったようで、此の事が後の一茶の来銚に繋がってくるようです。

成美は墨画帳の序で、利根川の流れを称え、銚子に富商が多いのはこの水利のお陰であることを述べており、けれど山に乏しいので望西台が出来たと言い、西南北三十里を見渡せるその遠望を褒め桂丸の尽力でこうしたものが出来たことを述べています。資料の宮負定雄の下総名勝図絵にはその当時の眺望の雰囲気がよく出ています。成美はこの中で、銚子が発展したのは利根川の水利によるものといっています。では、この頃の銚子がどうであったか振り返ってみます。

銚子が大きく発展したのは、寛永12年(1635)に江戸の洪水防止の為14年の歳月をかけ、渡良瀬川、利根川、常陸川を繋ぎ完成した利根治水で、これにより江戸までの水路が確保され、今まで房総半島を回る海上輸送であった東北からの物資が、より安全に輸送できる利根水運に変わったことが大きな要因と考えられます。そして、倉庫業、廻船問屋、仲買、引船などの業者が盛んになり、更に大消費地である江戸との流通港として地場産業である漁業や醸造業も栄えていきます。記録によると、延宝2年(1638)には銚子近海の難破船は仙台船だけで42隻あり、最盛期には仙台、米沢、笠間などの各藩の米蔵は七棟に及び、大型の高瀬船は150艘あまりあったとされ、若宮町の仙台北岸という地名などはその当時の名残といわれます。

因みに、漁業は紀州の崎山次郎右衛門が明暦2年(1656)飯沼村に、同4年には外川浦に港を開き、明和5年(1768)より暫く不漁が続くも文化、文政年間には好景気となります。醤油業は元和2年にヒゲタ醤油の祖田中玄藩が醤油醸造を始めたとされ、寛永7年(1630)には岩崎重治郎が山十醤油、正保2年(1645)には浜口義兵衛画ヤマサ醤油を創業しています。また、行政面では、天正18年(1590)徳川家の江戸入府と共に海上一族に代わりに松平外記の所領となり、その後佐倉の土井氏、川越の酒井氏となり、再び松平氏となり享保2年(1717)に松平の子孫である高崎藩の大河内氏が陣屋を設け明治に至るまで統治されました。これらのことにより銚子の人口は享保年間には飯沼村だけで1492戸、5849

人、なんとその中医師が13人もいたそうです。文政年間には飯沼、新生、荒野、今宮の四村で1万3千人を越していたといわれます。

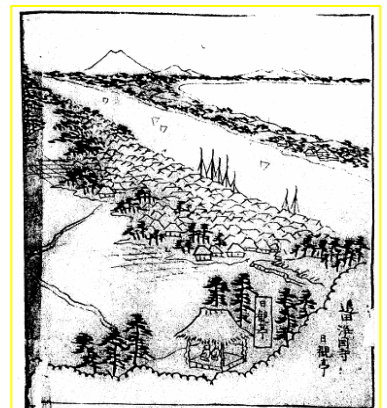
俳諧は江戸時代初期に和歌や連歌など特定の階級層の趣向ではなく庶民性を持ったものとして一般に広まり、芭蕉により芸術性が高められ、裕福な商人を中心に流行ったといわれます。当時江戸との取引が深く富裕な商人が多かった銚子、佐原は江戸俳諧との繋がりも強く、新選俳諧年表には文化、文政の時代に多くの俳人が挙げられています。一茶については、その生涯を年表として資料添付しましたので参考にして頂ければと思います。

さて、一茶はその様に発展しつつある銚子へ文化14年(1817)5月に訪れています。なぜ、詳しく判るかと言うと、一茶には彼の行動を詳しく記録した「七番日記」が残されており、これによって日付や場所、人物などを知ることができます。「七番日記」によると、銚子には5月27日から6月1日まで、下記のように4日間銚子に滞在したことが記録されています。

- 5月26日、潮来の俵屋に泊まる。
- 27日晴、卯の上刻(午前5:30)出船、船賃264文、未下刻(午後2:30)銚子着ですから9時間程掛かっています。蚕浜社が法花新田砂山の下にあるとありますが、蚕浜社の意味がよくわかりません。
- 吉野家に泊まる、喜平次と云う者がおり、熊、兎、孔雀、鷺、その他の品があった。ここで言う吉野家は飯沼にあったもので、熊云々は食べたものか、見たのか判断が付きません。安政(1850)に書かれた赤松宋旦の「利根川図志」によると、吉野家の料理九品として、ちりめん白魚、鰹の塩辛、鱸、牡蠣、防風、松露、山サ醤油、広屋のひしお、が挙げられています。
- 28日晴、桂丸、李峰の来訪を受け、辺田村の浄国寺に同道し此の時に、「下間や精進犬のてくてくと」という句を作っています。
- 29日晴、桂丸、李峰と浜を巡る、円福寺に行く、この下の飯貝根町は千軒あると言う。

資料の名勝図絵を見るとその様子が偲べれます。仕出し屋大田屋で昼食をしたらワンワン喜太郎というものが来たとあります。

余程印象的だったのか仙台64万石伊達候の船に太い竿があったと言い、



飯貝根に千人塚が在る、外川は昔三千軒有った
というが、今は礎が処所に在るだけとあります。
この時代より30年ほど前大きな津波があり、外
川が壊滅的被害をこうむった痕跡と思えます。

清水の不動に詣でる、滝があった。之は和田
不動のことだと考えられます。

新生、長崎へ。石切へ田八景画が観音堂にある。

- 6月1日南風、辺田、浄国寺の望西台に、桂丸、李峰と登る。
- 6月2日晴、小南に入る。

と記載されており、この様に一茶の銚子での行動と街の様子が詳しく記録されています。

6月1日の記録については別の頁に、桂丸の寺にある望西台に李峰と上った、成美の始め書の句帳があり住職に会った、とあり、夏目成美の始め書を見たことを改めて書き記しています。また、この追加記事の後に桂丸と李峰から二百疋ずつ饞別を貰ったことが記されています。一疋は10文ですから二千文の饞別になります。

一茶と桂丸の親交はこの後も続いたようで、桂丸が文政3年「椎柴」を選集した際に、一茶は信濃から「芽出しから人さす草はなかりけり」(八番日記)という句を寄せています。

ニコニコ

社会奉仕委員会 網中吉郎委員長・石井哲也君

皆様の御協力のおかげで先日RYLAが無事終了致しました。ありがとうございました。

加瀬武男君

屋敷の梅の花が見事でした。土地明け渡し訴訟の裁判で判決が出ました。

訃報



田中 破魔夫 殿

3月5日ご逝去(享年74歳)

- 1985年1月8日 銚子東RC入会(RC歴22年)
 - 1999年 第27代銚子東RC会長
 - ポール・ハリス・フェロー
 - R財団・ベネファクター
- ご冥福をお祈り申し上げます。

幹事の一言

宮内 博

3月5日昼下がりに、田中破魔夫会員がご自宅で急逝されました。以前より体調不安定の為、自宅で静養することが多く、最近ロータリーへも欠席が続きましたが、まさかこんなに急に逝かれるとは...。その翌日は商工会議所の会合に出席される予定であったそうです。活躍される気力もあり、本当に残念でなりません。

3月6日に中西会長と黒田副会長と私で田中邸にご挨拶に伺い、奥様とお会いして生前のお話をお聞きしました。医者嫌い薬嫌いであったこと、来年の黒田会長年度までは、頑張るつもりであったことなどを伺いました。田中会員が会長の時、黒田会員が幹事を務めた関係であったそうです。

何時も明るく、元気一杯であった田中会員のお姿が見られないのは、本当に寂しく残念ではありますが、これからも我々の事を見守って頂きたいと思います。田中会員お疲れ様でございました。

前回の例会(3/6)報告

点 鐘 中西 廣会長

出席報告

会員総数	47名	出席規定除外数	13名
出席者	26名	出席率	76.47%
2月20日		確定出席率	87.88%

来訪ロータリアン

阿天坊俊明君 井上照夫君 杉山俊明君
(銚子RC)

欠席者 8名

網中(吉)君 平幡君 石上(新)君 大木君
杉山君 鈴木君 田杭君 山本(幸)君

メイクアップ

なし

スモールコインBOX

小計 ¥ 2,230-

累計 ¥ 75,986-

ニコニコBOX

小計 ¥ 19,000-

累計 ¥ 670,428-

銚子東ロータリー・クラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL 0479(25)3111(代) FAX 0479(25)8789

R.I 第2790地区

メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL http://www.tcs-net.ne.jp/~rc

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 中西 廣 副会長 黒田幸一 幹事 宮内 博

クラブ会報委員会 安藤正雄・和田 誠・宮内勝利・杉浦 武

表紙題字 網中喜一郎初代会長

ほととぎす 銚子は国の とっばずれ

古帳庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦(古帳庵 古帳女)が銚子に遊んだときに詠んだもので、この碑は圓福(円福)寺に現存する。